

中国における産後サポーターの仕事・生活と家族機能の変化

A study on the actual conditions of work & life of postpartum supporters and changes in family functions in China

博士後期 政治学専攻 2019年度入学

楊 普鵠

YANG Puge

【論文要旨】

中国経済の急速な発展と都市化の進展に伴い、伝統的な家族構成やライフスタイルや産後ケアの意識などに顕著な変化が生じている。こうした変化が「月嫂」という集団の形成と発展につながった。「月嫂」は中国語で、主に産後の母親や赤ちゃんの世話をする専門家を指す。彼女らは、産後の母親の家庭での子育てのサポートを提供することが多く、食事の準備や掃除、赤ちゃんの世話、母親の健康管理などを行う。彼女らはしばしば産後の家族のサポートを支援し、特に都市部で需要が高まっている。本稿では「月嫂」を「産後サポーター」と表現する。

産後サポーターという集団の研究から、中国農村部における家族形態の変化や、中国農村部と都市部の複雑かつダイナミックな関係を洞察することができる。彼女たちの経験やライフストーリーは、伝統的な大家族モデルから核家族モデルへの移行といった都市部の家族構造の変容を反映しているだけでなく、都市部での仕事と農村での生活のバランスと葛藤も明らかにしている。さらに、彼女らの視点を通して、都市と農村の経済格差、社会移動、家庭や社会における農村女性の役割の変化を観察することもできる。

本稿が基づいている聞き取り調査は、2023年7月から9月にかけて、筆者が中国西北部の陝西省にある県の異なる村に住む9人の産後サポーターに詳細な聞き取り調査を行ったものである。聞き取り調査した産後サポーターはいずれも農村戸籍で、定住地は農村であり、働き場は中国の都市部と経済発展がより良い県庁所在地であった。これら9人の産後サポーターは、相互の紹介を通じて筆者に連絡してきた。県内には同業界で働く女性が多く、聞き取り調査に応じる方も多かったが、第一に対面聞き取り調査すること、第二に産後サポーター業界で少なくとも5年以上の経験を持つ人を選ぶこと、という2点を考慮して9人だけを選んだ。聞き取り調査は1時間から2時間半に及び、主に彼女たちの自宅で行われた。聞き取り調査は録音され、テキスト化された。本稿では、代表的な産後サポーターの一人であり、仕事と人生経験が他の産後サポーターの共通点と個人的特徴を反映している産後サポーター——Sさんの聞き取り調査内容を選択した¹。

本稿は、Sさんへの聞き取り調査から得られた情報に基づいており、4章構成となっている。第1章は、産後サポーターに関する先行研究の到達点と限界についての考察である。第2章では、仕事の契約方法と仕事のやりがいを切口とし、聞き取り調査したSさんの仕事と生活の実態を詳細に記述する。第3章では、産後サポーターへの聞き取り調査から得られた情報をもとに、産後サポーター産業が形成された原因と、産後ケアの主な担い手として徐々に台頭してきた原因を詳細に分析する。第4章では、これまでの章で行った分析に基づき、近代における中国農村の家族機能の変化と、農村女性の家庭や社会における地位の変容について分析する。

¹ 見田宗介は『まなざしの地獄——尽きなく生きることの社会学』（河出書房新社、2011）という本において、犯人N・N一人で、現代日本の都市というもの、その人間にとっての意味の一つの断片を見事に分析した。本稿も見田の研究からヒントをもらって、Sさんの仕事・生活を中心に論述することにする。